

今後の調査内容等について

<p style="text-align: center;">中間報告案における検討事項 〔 第3 海岸防災林の再生方針 4 海岸林の再生に当たっての推進方向 〕</p>	<p style="text-align: center;">調査内容等</p>
<p>(1) 被災箇所ごとに、被災状況や地域の実情さらには地域の生態系保全の必要性等に応じ再生方法を決定していくこととし、海岸防災林の有する津波に対する減災機能も考慮した海岸防災林の再生を検討すべきである。</p>	<p>■被災箇所の実情に応じた再生方法の検討手法の検討 →検討指標（被災状況・地形・土地利用・海岸保全施設・生育条件・生態系配慮など） →検討手法（マトリクス表、フローチャートなど）</p>
<p>(2) 海岸防災林の再生に当たっては、後背地の土地利用やまちづくりの観点など、地域のランドデザインの内容と整合をさせるよう検討すべきである。</p>	<p>■海岸防災林の特徴と機能の提示 →特徴（多機能性、樹木の成長、林分構造の経年変化など） →機能（津波エネルギーの減衰効果など、定量的に効果を提示し、多重防御の検討の際の一助）</p>
<p>(3) 海岸防災林の林帯幅については、防災機能を期待する観点から、これまでの研究成果に基づく技術的知見を念頭に置き、後背地の土地利用状況など地域の実情を十分踏まえ検討すべきである。 なお、海岸防災林の再生に当たっては、森林の構成により機能を高めることも検討すべきである。</p>	<p>■適正な管理を行った海岸防災林における数値シミュレーション →林帯幅や森林の構成に応じた波力減衰効果の違い →樹木の成長を考慮した検討</p>
<p>また、地盤高が低く地下水位が高い箇所では、植栽に当たって、樹木の根の緊縛力を高めるため、垂直方向への根系の発達を誘導するよう盛土により地盤を高くすることを検討すべきである。</p>	<p>■根系成長（根張り）と微地形（特に地下水位）との関係を調査 →水平根の分布量調査（1断面2距離） →垂直根の深度調査（深度が深い場合は1.5m位置の断面把握） →土壌断面調査（土壌状況の把握と地下水位把握→深い場合、検土杖により確認）</p> <p>■どのような根系状況であると流木化しにくいかを調査 →流木被害地の観察調査（流木化した根系における水平根の分布量、垂直根の深度調査）</p> <p>■上記の2調査により、地下水位との関係から流木化しにくい健全な根系を発達させるために必要な盛土厚を検討する</p>

中間報告案における検討事項	調査内容等
<p>(4) 多機能海岸防災林については、2(2)の諸条件を念頭に置きつつ、盛土材として再生資材等を利用する場合を含め、箇所ごとにその必要性やコスト等を十分考慮し、人工盛土の構造・配置等を検討すべきである。特に、配置については、連続したものだけでなく、単独あるいは千鳥格子状に孤塁を効果的に配置することについても検討すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■人工盛土の配置検討 <ul style="list-style-type: none"> →平面配置：連続配置、孤塁・千鳥配置（林帯背後の保全対象を考慮、孤塁の延長の検討） →横断配置：汀線からの位置、林帯との位置関係、幅、高さ等 ■人工盛土の構造検討 <ul style="list-style-type: none"> →法面勾配、頂部幅など →法面保護対策（緑化、法面保護など）
<p>(5) ガレキ等を盛土材として利用する場合は、沿岸漁業への影響等周辺環境への影響が生じないように、無害化された再生資材や建設発生土等に限定することを検討すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■再生資材や建設発生土等の周辺環境への影響調査 <ul style="list-style-type: none"> →再生資材：必要に応じ安全管理手法 →建設発生土：海岸部で利用する際の課題と対応 ■盛土材としての使用可能量や運搬コスト等を調査 <ul style="list-style-type: none"> →再生資材の存在箇所・存在量の把握（災害廃棄物の状態、無害化を行う中間処理施設の処理能力） →再生資材の使用可能量の把握（多機能海岸防災林の構造・配置等） →再生資材の存在箇所・存在量、中間処理施設の位置・処理能力、人工盛土の造成箇所・盛土材としての使用可能量とのマッチング
<p>(6) マツだけでなく、広葉樹も含めた苗木の供給体制や地域住民等の参画による植栽や保育等についても検討すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■苗木の供給体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> →平成23年度予算「優良種苗供給促進事業」により、郷土樹種等の供給推進の取組に対して支援 →海岸防災林の再生に必要な苗木の安定供給体制の整備に向けた検討 ■地域住民や企業・NPO等の参画の促進を検討 <ul style="list-style-type: none"> →企業等の海岸防災林再生への意向や要望の把握 →森林づくりコミッション等を通じた情報提供等、多様な主体が海岸防災林づくり参画するための環境整備